

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

“学びをつなげる学校” だより

令和6年4月20日 第1号 【文責 校長 佐藤容子】

令和6年度は、幼稚部6人、小学部10人、中学部6人の全22人。

入学式では、コロナ禍が明け来賓をお迎えでき、一層お祝いムードを高められ、改めて感謝の思いでした。

4月10日。小学部入学式では、ピカピカの1年生4人を迎えました。他の行事と違って練習無しの本番。幼稚部を卒業したばかりの子供たちにとってとても広い空間での式典でした。緊張しつつも4人が立派に主役を務めようとする姿は感動的でした。本格的な学びの入り口に立った仲間を、6人の上級生たちも温かく見守っていました。

4月11日、遊戯室で行われた幼稚部入学式。入場してきた2人の新入生は、横にぴったりとついたお父さんお母さんに見守られながらの不安と緊張の表情。それでも年長さん3人からのエールを送られる頃には、幼稚部の先輩たちに注目する余裕も見られました。週1～2回の乳幼児教室から、毎日学校に通う生活リズムの劇的変化への第1歩でした。

通級指導教室では、島田サテライト2人、牧之原サテライト8人、放課後本校に通ってくる23人、合計33人。

また、1歳つくし組と2歳さくら組を合わせた乳幼児教室5人の乳幼児教室もスタートです。

目指す子供の姿は

「人との関わりを楽しみながら、自分らしくたくましく進んでいく子」です。

“子供が真ん中、子供が主役!”の学校づくりを教職員一同、子供たちと一緒に進めて参ります。ワクワク!ドキドキ!楽しく充実した教育活動になりますよう、応援団の皆様、御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

校長 佐藤容子





「入学式」では、ばら組、ゆり組の先輩たちがエールを送ってくれました。
「もも組を迎える会」では、新入生もがんばって自己紹介しましたね。



「1年生を迎える会」では、小学部メンバーの紹介やゲーム、プレゼント
など、上級生が楽しい会を企画してくれました。1年生も一人ずつ、堂々と
自己紹介できましたね。



新入生がいなかった中学部ですが、新しい先生も迎え、静岡大学に出
向きました。大学キャンパス内の歓迎ムードも味わってきました。